

# 2018 年度 Communication On Progress

2018年1月1日～2018年12月31日

2019年8月23日  
コーユーレンティア株式会社

# トップメッセージ

当社は、創業時（1970年）より企業理念「全社一丸となり 顧客を創造し 社業発展、進歩を図り 社会に貢献する」をもとに、オフィス関連機器を中心にFF&E（家具・什器・備品）のレンタルサービスを展開しています。「レンタルこそエコ」を提唱し、創意工夫を凝らしながら、社会課題やお客様の困りごと解決につながる商品やサービスの提供に努めてまいりました。



昨今、シェアリングエコノミーに注目が集まり、ITによる新しいサービスが生み出される中、社会は「競争」から「共創」の時代に入り、「モノ」から「コト」の流れが加速しています。コージュレンティアは「社会や環境にレンタルでどのような価値を生み出せるか」を考え、「レンタルの力」でお客様の価値創造に貢献して参ります。

当社は2020年に創業50周年を迎えます。今後も更なる成長を目指し、ステークホルダの皆様信頼されるパートナーとして「持続可能な社会の実現」に向けて邁進する所存です。

代表取締役社長  
**梅木 孝治**

# グローバル・コンパクト10原則

|      |       |                  |
|------|-------|------------------|
| 人権   | 原則.1  | 人権擁護の支持と尊重       |
|      | 原則.2  | 人権侵害への非加担        |
| 労働基準 | 原則.3  | 組合結成と団体交渉権への実効化  |
|      | 原則.4  | 強制労働排除           |
|      | 原則.5  | 児童労働の実行的な排除      |
|      | 原則.6  | 雇用と職業の差別撤廃       |
| 環境   | 原則.7  | 環境問題の予防的アプローチ    |
|      | 原則.8  | 環境に対する責任のイニシアティブ |
|      | 原則.9  | 環境にやさしい技術の開発と普及  |
| 腐敗防止 | 原則.10 | 強要・賄賂等の腐敗防止の取組み  |


| 分野     | 2018年度  |    |  | 2019年度                |
|--------|---|----|--|-----------------------|
|        | 活動目標  | 評価 | 結果   | 活動目標                  |
| 人<br>権 | 1. 個人情報保護<br>2. 差別禁止（採用、配属、昇格）<br>3. 人権教育   | ○  | 1. 個人情報保護<br>1) マイナンバー<br>特定個人情報取扱規程およびマイナンバー各地区取り纏め担当者リストにより、情報漏洩防止と厳格化を実施している。<br>2) 個人機密情報<br>・人事システム：ライセンス（取扱者）厳選により保護している。<br>・エクセルデータ等PWによりデータ漏洩防止を行っている。<br>・書類：室内書庫に保管、退勤時は施錠を徹底している。<br>・最終退出者が部屋に施錠し、第三者の入室を防止している。<br>3) ISO27001継続認証<br>情報資産を適切、安全に保護<br>4) 全従業員向けコンプライアンス研修実施 | 1.個人情報保護<br>2.公正な人事制度 |
|        |   | ○  | 2. 差別禁止（採用、配属、昇格）<br>・採用選考：応募者の基本的人権を尊重、適正・能力のみ基準とする<br>・配属：人事委員会（社長、役員、人事）が公正且つ適正に実施<br>・昇格：平等なノミネート、選考（筆記試験、面談）により実施   |                       |
|        |   | ○  | 3. 人権教育<br>・差別行為の禁止<br>人権を守る為のハラスメント教育を実施（マネジメント職を対象に1回/年）<br>・全従業員を対象にコンプライアンス研修を実施（1回/年）<br>・リスクコンプライアンス委員会を新設。（3ヵ月毎に開催）   |                       |

| 分野 | 2018年度  |    |   | 2019年度   |
|----|---|----|---|--|
|    | 活動目標  | 評価 | 結果  | 活動目標   |
| 労働 | 1. 多様な働き方に対する支援<br>2. 従業員の健康と安全<br>3. 労働災害ゼロの実現<br>4. 適切な能力開発と配置<br>5. 社員満足度の向上 | ○  | 1.多様な働き方に対する支援<br>・時差出勤/モバイルワーク/サテライトオフィスの推進<br>休日出勤の抑制   | 1. 全グループ会社の全国支店事業所を対象とした安全教育の実施<br>2.労働災害ゼロの実現<br>3.車両自責事故の前年対比20%以下に削減<br>4.災害対策本部を対象としたBCP訓練の実施<br>1) 多様な働き方に対する支援<br>2) 従業員の健康と安全<br>3) 労働災害ゼロの実現<br>4) 適切な能力開発と配置<br>5) 社員満足度の向上 |
|    |   | ○  | 2.従業員の健康と安全<br>・健康診断の100%実施（2次診断者へのフォロー）<br>・従業員支援プログラム（EAP）及びストレスチェック実施<br>・ニュースレター「健康通信」を毎月配信し、健康意識を促進<br>・賃金制度の改訂：管理監督者の手当の新設⇒権限と責任に応じた待遇改善  |  |
|    |   | ○  | 3. 労働災害ゼロの実現<br>・全グループ会社の全事業所で安全教育実施<br>・レンティアグループ『安全理念』を新規制定し、周知徹底<br>・レンティアグループ『安全衛生方針』を改訂<br>・BCP要領・手順書を大幅改訂<br>・安全パトロール58件実施、指摘事項減少傾向にある<br>・納品先での労災事故1件(2017年2件)<br>・車両自責事故6件（2017年9件）<br>・ニュースレター「Safety First News」を毎月配信 |  |
|    |   | ○  | 4.適切な能力開発と配置<br>・教育研修制度の充実<br>・公的資格支援制度の実施<br>・適切な人事異動（スキル、能力、資格取得者）の実施<br>・評価制度の見直し：目標管理シート改定⇒平等な評価<br>・賃金制度の改訂：管理監督者の手当の新設⇒権限と責任に応じた待遇改善  |  |
|    |   | ○  | 5.社員満足度の向上<br>・評価制度の見直し：目標管理シート改定⇒平等な評価<br>・賃金制度の改訂：管理監督者の手当の新設⇒権限と責任に応じた待遇改善   |  |



| 分野 | 2018年度   |    |  | 2019年度  |
|----|--|----|--|---|
|    | 活動目標   | 評価 | 結果   | 活動目標  |
| 環境 | 1. CO2排出削減<br>2. 再生可能エネルギーの利用<br>3. 廃棄物の削減<br>4. 環境活動の推進 | ○  | 1. CO2排出削減<br>今年度は環境省推奨のEA21（環境マネジメントシステム）をグループとして実施して10年目であった。グループとして事業拡大（従業員数及び売上増加）しているにも関わらずCO2排出量が削減できた。これも継続的な環境マネジメントシステムの実行により社員が自然に削減活動を実施するようになってきたからだと思われる。   | 1. 温室効果ガスの削減<br>1) 二酸化炭素排出量の削減<br>2) カーボンオフセットの推進<br>3) フロン排出抑制<br>2. 廃棄物排出量の削減<br>3. 環境活動の推進<br>1) グループにおける環境取組<br>2) 各種ボランティア活動への参加<br>3) エコ検定取得の推進<br>4) 環境法令の遵守 |
|    |  | △  | 2. 再生可能エネルギーの利用<br>1) 太陽光発電システムレンタルのみだった。2018年のレンタル件数は41件。（販売なし）特徴として工事現場に加え、自治体イベントや豪雨災害の被災地でソーラー電源を検討し、選ばれるケースが増えた。<br>2) 当グループ物流センター屋上設置の太陽光パネル発電利用量 2018年度 231,610kw   |   |
|    |  | ○  | 3. 廃棄物の削減<br>EA21のシステムを通じ経営者の理念方針から、各拠点が目標を立脚し廃棄物の削減活動を実施した。今年度はいくつかの賃貸オフィス（テナント）への移転の関係で使用量の把握が困難となり数字的には大幅な削減となった。今後は定性的な目標の策定を視野に入れ負荷削減活動を継続していきたい。<br><br>・一般 2017年度 41.6 t → 2018年度 25.4 t<br>・産業 2017年度 2,138 t → 2018年度 1,653 t |   |
|    |  | ○  | 4. 環境活動の推進<br>1) 環境月間アクションキャンペーンの企画計画実行<br>2) 地域毎クリーンキャンペーン<br>3) 環境月間（6月度）に環境保全活動実施 延べ214人参加<br>4) Fujisawaサステイナブルスマートタウン施設見学<br>5) エコ検定取得の推進：過去5年平均の5割強の合格数  |   |



| 分野   | 2018年度  |    |   | 2019年度  |
|------|---|----|---|---|
|      | 活動目標  | 評価 | 結果  | 活動目標  |
| 腐敗防止 | 1. 不当な取引の防止   | ○  | 1. 不当な取引の防止<br>・リスク・コンプライアンス委員会の開催<br>(2018年度 3回)<br>グループのリスク情報を共有し、改善活動に努めている<br>・コンプライアンス研修の開催<br>全従業員を対象に4~7月実施。<br>参加率98%、理解度99%<br>・コンプライアンスポータルサイトでeラーニング<br>・企業および社員間の虚礼廃止による公正な企業活動 | 1. リスクコンプライアンス委員会を通じ、リスクアセスメントの実行<br>2. コンプライアンス啓発活動を推進する |
|      |  |    |   |   |

# 会社概要

## ●会社概要

会社名：コージュレンティア株式会社

所在地：〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル6F

代表者：代表取締役社長 梅木孝治

資本金：9,000万円

従業員数：365名（2018年12月31日）

設立：1970年（昭和45年）





# 活動報告の掲載

---

このCommunication On Progressは下記のホームページより  
ご覧頂く事ができます。

●グローバルコンパクトのホームページ

<https://www.unglobalcompact.org/what-is-gc/participants/12307#cop>

●コーユールンティア株式会社のホームページ

<https://www.koyou.co.jp/>

**【連絡先】**

コーユールンティア株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル6階

電話：03-6758-3500 FAX：03-6758-3502